

ふくしの森ステーション かじ だより

発行：飯能市社会福祉協議会/ふくしの森ステーションかじ（加治東地区行政センター内）
電話：070-7792-2423（開所日時/火～金曜日 ※祝日を除く 時間/9:15～16:15）

たすけあい・あいわネット準備中！ ～岩沢・阿須を対象にした支え合い活動について～



前回紹介したたすけあい加治の活動の様子

加治東地区における 支え合い活動

加治東地区（岩沢／阿須）にお住まいの方を対象とした支え合い活動。通称「たすけあい・あいわネット」が始まるうとしています。すでに、加治地区（川寺／笠縫／落合）の方を対象にした支え合い活動は、設立4年目を迎えた「たすけあい加治」が担っております。そんな中、岩沢・阿須にお住まいの方から「助けが欲しい！」という声があがっており、加治東地区でも、立ち上げに動き出しました。

支え合い活動とは？

住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域住民がつながり、互いに支え合い、いつまでも安心して暮らしていくための活動です。

住み慣れた地域で暮らしていくうえで、法律上の制度やサービスだけでは対応できない、様々な問題が生じることがあります。支え合い活動は、そうした問題を解決するとともに、コミュニティの力を強め、暮らしやすい地域づくりにつながる活動です。



飯能市内では、すでに⑪もの支え合い活動団体が活躍しています。地区にお住まいの方を対象に、それぞれの地域の特性に合わせた活動内容で、地域の方々を支えております。

活動会員募集中！

現在も、活動の立ち上げに向けて、話し合いを重ねております。

そして、これから活動を開始するために、支え合い活動と一緒にする仲間を募集しております。活動会員になって、住み慣れた地域と一緒に支えてみませんか？

たすけあい・あいわネット
で活動会員になれる方は
「ふくしの森ステーション
かじ」までご連絡ください



支え合い活動団体の研修に参加した時の様子

“ふくしの森ステーションかじだより”は各自治会のご協力で回覧いただいております。

地域ふくし発見!

飯能市内の地域福祉に関する素敵な活動や取組みをふくしの森ステーションのCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。

はんのうふくしの森 活動者交流会



取材レポート：小林CSW

初めての合同交流会



市内で活動する三つの分野の皆さんが大集合！
10/11（金）に総合福祉センターで「はんのうふくしの森活動者交流会」が初開催されました。

第1部 実践報告

「第4次はんのうふくしの森プラン」の要点について事務局から説明があり、その後、菱沼先生（日本社会事業大学）によるコーディネートの上に、①支え合い活動団体・サポート双柳、②地域福祉推進組織・なぐり広場、③ボランティア団体・プレーパークはんのう「EGAO」の皆さんから実践報告を行っていただきました。



サポート双柳（石井氏・通昌氏）

「介護保険サービスだけでは対応できない生活の困りごとに対応するために活動を立ち上げました」

なぐり広場（杉田氏）

「名栗の人と人をつなげる接着剤として“居場所づくり”におもきを置いて活動しており、昨年開催の“なぐりのコンサート”は約200の方が参加され、9割が名栗の方で大好評でした」



プレーパークはんのう「EGAO」（岩渕氏）

「こどもがプレーパークに来て笑顔になるのはもちろん、その笑顔を家に持って帰ったり、友達に広げたりして欲しい」
皆さん、お話している時とってもステキな笑顔でした！



菱沼先生

担い手不足解消のためにも、まずは声を掛けやすい間柄づくり、色々な方と繋がる事が大事です！

チームオブドラゴンと体操！

休憩を挟み、**チームオブドラゴン**の皆さんによるアトラクション（体操）が行われました。会場が一体となり、皆さんが笑顔で体を動かし、心も体もスッキリしたひと時になりました。



第2部 交流会



本橋先生（埼玉医科大学）によるコーディネートの基に、グループワーク（自己紹介、第1部についての意見交換など）が行われ、積極的な交流で賑やかな時間となりました。

飯能市民として色々な団体が活躍している事を知ることが出来て嬉しい。挨拶出来る関係を大切に。

本橋先生



参加者からは「もっと交流したい」、「時間が足りない」など、次回開催に向けたご意見をいただきました。今後にご期待ください！